

## 生活介護事業所第2みらい 令和2年度事業報告

### 【概況】

今年度は新型コロナウイルス感染症に大きく影響された1年となりました。上半期の緊急事態宣言時においては、利用者の皆様に対して利用自粛のお願いをさせていただいたこともあり、一部の利用者の方には今でもその影響が残っています。また、一泊旅行や第2みらいフェスティバルを含む行事の中止、第三者評価受審の見送りなど、事業計画で予定していた事も大きく変更せざるを得ませんでした。その他、空気清浄機やアルコールディスペンサーを各居室に設置するなど、感染予防に努めるとともに、Wi-Fiの設置工事を行い、コロナ禍で参加できなくなった外部研修を事業所内で参加できるよう環境を整備しました。

そのような中、今年度は第2次中長期計画の初年度にあたるため、新たな実施項目に基づく4つの部会に当事業所からも職員が参画し、各部会において様々な課題を検討し、法人運営の一端を担いました。

1. 利用状況について、4月に1名の方がお亡くなりになられ退所となりました。7月に新たに1名の方が入所され、在籍者は43名と変わりありませんでした。出席率は86.7%と前年度より4.2%減少し、1ヶ月の平均利用者数は37.3名でした。出席率の減少については、上述のとおり新型コロナウイルス感染予防のための利用控えによる影響は多少ありますが、大きくは利用者1~2名で開所をした日が当初の予定より12日多かったことによるものです（大部分はご家族と同居することが困難となった利用者への、休日支援のための開所）。5月に定員変更（46名⇒40名）を行ったこともあり、大きな減収には至りませんでした。

2. 支援については、ご家族の高齢化に伴い、生活環境に変化のある利用者が増えてくる中、一人暮らしの方やご家族と同居が難しくなった方々の生活について、どのように支えていくことができるのか、法人全体で検討を行いました。グループホームを利用されている方は前年度同様22名、平均障害支援区分は5.26と前年度とほぼ同じでした。個々のニーズに対して、よりきめ細やかに対応すべく、引き続き小グループでの支援を実施しました。

3. 生産活動については、コロナ禍で自主製品の販売が危ぶまれましたが、市内の事業所が協力をしてカタログ販売を行ったり、新たに販売の場へ積極的に出店したりするなどしたことにより、前年度より収入が増加しました。工賃の支払い実績は、一人当たりの平均工賃月額が1,451円で、前年度と比較し+233円となりました。作業収入は約93万円で、前年度と比較し約8万円の増収となりました。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

1. 利用者状況（令和3年3月31日現在）

(1)在籍状況 男性 30人 女性 13人 合計 43人  
 (平均年齢) 男性 47.66歳 女性 36.23歳 全体 44.23歳

(2)出席状況（各月初値） 出席率 86.7%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	31	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	361
女性	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	153
合計	43	42	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	514

\*利用者の異動

【入所】

7月…女性1名

【退所】

4月…男性1名

(3)障害状況

①療育手帳

②身体障害者手帳（重複）

	男性	女性	合計
A	30	13	43
B1	0	0	0
B2	0	0	0
合計	30	13	43

	男性	女性	合計	部位
1級	1	0	1	肢体、内部
2級	1	1	2	肢体、平衡機能
3級	2	0	2	内部、言語等
4級	4	4	9	言語・そしゃく
合計	8	5	14	

③障害支援区分(平均障害支援区分 5.26)

区分	男性	女性	合計
3	0	0	0
4	5	1	6
5	15	5	20
6	10	7	17
合計	30	13	43

## 2. 日課・週間プログラム

### 【日課】

午前		午後	
9:00~10:00	登所(時差)	13:30~14:30	作業
10:00~10:30	朝礼体操等	14:30~15:30	休憩
10:30~12:00	作業	15:30~	降所(時差)
12:00~13:30	昼食・休憩		

\*グループや個人により時間に違いがあります。

### 【週間プログラム】一例(個人により作業時間等プログラムは異なる)

	月	火	水	木	金	土・日
午前	屋外活動	作業 陶芸	作業 公園清掃	ウォーキング	作業 織り	余暇支援 休み
午後	作業 ウォーキング	作業 ウォーキング	作業 ウォーキング	口腔ケア 機能訓練	華道 活動	余暇支援 休み

## 3. 職員体制等

### (1) 職員体制

常勤職員： 管理者・サービス管理責任者(兼務1) 生活支援員(8)

非常勤職員： 支援員補助(8) 運転手(4) 医師(1)

看護師(1) 事務職員(1)

業者委託： 送迎運転手(1) 送迎添乗員(2) 調理師(1) 調理員(2)

## 4. 建物・設備維持管理

### 【定期点検】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備			4						3			
害虫駆除	9		11		6		8		10		10	
E V	21			17			19			25		
自動扉	13			14			12			15		
消防設備			24						18			
電気設備		21		16		4		16		18		15
定期清掃					29						6	

\*表中の数字は、実施日

## 【その他】

(改修等)

- 6月17日 トイレ詰まり修繕 (2F 身障者用)
  - 6月19日 植栽伐採及び土間コンクリート工事
  - 7月15日 2F 系統空調機修繕工事
  - 8月21日 トイレ詰まり修繕 (2F 身障者用)
  - 8月22日 3F エアコン室内機水漏れ修繕工事
  - 10月22日 トイレ詰まり修繕 (2F 身障者用)
  - 11月14日 誘導灯取替工事
  - 12月12日 全館空調室内機不良修繕
  - 1月7日 Wi-Fi 設置工事
- ※ 設備管理業者：株式会社アチーブ総合設備

## 5. 車両・送迎管理

今年度もバス・キャラバン2台(リース車両)及びキャラバン・ステップワゴン・ハイゼット(事業所所有)の6台で送迎等を運行。リース車両を導入したことにより、車両管理の負担軽減となった。事業所所有のキャラバンについては老朽化に伴い、故障が頻発するようになってきたため、今後の車両入替も検討する必要があると考えている。

送迎については、利用者の環境変化に応じ、その都度、柔軟に送迎コースの変更を行い対応。

### 【車両管理等】

	キャラバン	ステップ	ハイゼット
6ヶ月点検	2年9月	2年9月	3年2月
12ヶ月点検	3年2月	2年4月	
車検		3年2月	2年7月

※ 上記とは別にバス及びキャラバン2台をリース車両として保有。

### 【修繕等】

- 3月18日 キャラバン：エンジンポンプ故障
- 3月20日 ステップ：エンジン故障

## 【車両事故】

8月 3日：長興寺2丁目付近国道176号線を北進。右折をした際に直進してきたバイクと接触。

3月16日：第2みらい駐車場出庫時、駐車している事業所の車両に接触。

※ 上記2件は、いずれも運転手の不注意によるもので、運転手に対し厳重注意を行うとともに、事故報告書にて他の職員に対し注意喚起を行った。

## 【送迎管理】

### (1)通常送迎

マイクロバス（29人乗り）：市内循環（豊中全域）・朝夕各1便

＊(株)ジャパン・リリーフへ車両管理請負業務として委託

キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部・伊丹）朝夕各1便

青キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部）朝2便、夕1便

赤キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中中部）朝2便、夕1便

ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中中部・北部）朝2便、夕2便

ハイゼット（4人乗り）：旭丘便 朝夕1便

＊添乗業務は車内の状態把握及び利用者対応のため支援員が実施。

＊行事の際には特別ルート及び時刻表に基づき運行。その他、諸事情による乗降場所の変更などにも柔軟に対応。

### (2)別便送迎

特別送迎延べ利用回数 56回（前年度比－44%）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特別送迎	11	2	4	5	3	5	6	2	7	3	2	6
ショート等	59	39	56	48	49	38	48	55	90	87	66	76
合計	70	41	60	53	52	43	54	57	97	90	68	82

特別送迎の利用回数は、前年度より44%減少。歯科通院での利用が大半を占めているが、コロナ禍で歯科通院を控える方もおられることが減少の要因と考える。ショートステイ送迎（通常送迎）については、利用回数が大きく減少（1118回→762回、月平均63.5回）。長期ショートステイの利用減少が要因。しかし、12月以降は新たに長期ショートステイを利用される方がおられたため、増加している。

## 6. 年行事等

月/日	行 事 名	行先・場所	特記事項等
12/19	クリスマス会	第2みらい	

その他、グループごとに給料日の取り組み（買い物など）などの活動を実施。

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、予定していた行事のほとんどを中止とし、各グループで事業所内での取り組みに変更をした。クリスマス会についても、全員で集まることはせず、各グループでの取り組みとした。選択余暇支援については、対象の利用者のみ事業所内での活動を提供した。

## 7. 余暇活動等

### (1) 開催内容

#### 金曜活動

- ・リズム体操：月2回（講師）辻村恵美子
- ・茶 道：月2回（講師）橋本喜久子、生越夕紀子
- ・華 道：月2回（講師）高橋美智代

#### その他の活動

- ・音楽療法：月1回（講師）佐藤信子
- ・ダンス：毎週月曜日（講師）辻村恵美子

### (2) 障害者青年教室

豊中市教育委員会の補助制度を活用（講座3千円の助成額）。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ること。

- ・陶 芸：毎週火曜日（講師）崎原敦子

新型コロナウイルス感染予防のため、一時は全ての活動を休止したが、1回目の緊急事態宣言解除後、茶道・華道・陶芸については参加人数が少ないことや、活動自体の感染リスクが低いと判断したため再開。

## 8. 健康管理・給食

### 【健康管理】

- ・健康相談：月2回、嘱託医が来所。その他、ご家族からの相談や健康診断の所見などをいただいた。相談を受けた内容は連絡帳を通して、ご家族に報告。
- ・健康診断：8月にあいわ苑診療所で利用者37名が受診。今回も胸部レントゲン検査が行えなかったため、次年度以降もレントゲン検査については課題となっている。

- ・予 防 接 種：11月に第2みらいにて37名が接種（インフルエンザ）。嘱託医である宮澤 Drにより、第2みらいの医務室にて実施。
- ・訪問歯科診療：委託業者（すまいる）  
 歯科医師1名、歯科衛生士4名  
 毎週木曜 PM（月4回上限）  
 受診者数：27名

### 【給食】

- ・委託業者：ナフス(株)
- ・給食会議：月1回、委託業者・管理栄養士・法人職員が参加し、検食簿に基づく意見の交換や季節感のある食事の提供に努めた。年度途中より、新型コロナウイルス感染予防のため会議を中止し、電話での調整を行った。
- ・嗜好調査：年2回実施(10月、3月)  
 調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するように努めた。

## 9. 防災

	月/日	内 容	参加人数	備 考
1	11月	教養型防災訓練	18人	職員のみ
2	3月	シェイクアウト訓練	18人	職員のみ

今年度は避難訓練を行うことで密集することを避けるため、新たな取り組みとして上記の訓練を実施した。教養型訓練では、動画を視聴したうえで、セルフチェックシートを各自で実施した。シェイクアウト訓練は、同時刻に一斉に参加者全員が机の下に隠れるなど身の安全を図る行動を実践し、日ごろの防災対策を確認するきっかけ作りにする訓練であり、今年度は各職員が自宅で実施をした。次年度以降はこの訓練を事業所でも出来るよう検討していきたい。

## 10. 活動支援の取組み

第2みらいの運営方針、支援方針に基づき令和2年度の支援を次の通り行った。

- ①個別支援計画を基に日常生活上必要な介護、支援、相談、助言等を行った。  
 スケジュールについては自己選択の機会として面談時に調整し、その上で活動内容を実施した。

- ②障害特性、ニーズに基づいた小グループ化を図り、より個々に適したプログラムを提供できるように環境整備に取り組んだ。そのことにより情緒面の安定に繋がったと考えている。しかし、職員の不足により、20名程度の大きなグループを1つ設け、サービスの提供を行った。
- ③機能訓練については、作業療法士が退職したことにより、作業療法士による訓練を実施することができなかった。そのため、職員による簡易な機能訓練の実施にとどまった。

#### (1) 作業支援

利用者のエンパワメントを高める観点から、引き続き様々な作業を行った。軽作業については、1年間安定して仕事を受注することができた。自主製品については、コロナ禍で販売機会が減少したが、市内の事業所が協力しカタログ販売を行ったり、今まで参加しなかったイベントに出店したりしたこともあり、昨年度より売り上げは増加した。しかし、製作することのできるスタッフが限られていることや、利用者の作業化について引き続き課題となっている。

##### ・軽作業

「ヒノモト商会」部品の袋詰め等  
「ワーキングサービス」緩衝材の袋詰め  
「豊中市障害福祉課」刻印作業  
売り上げ…約 26 万（前年度比+1 万円）

##### ・屋外作業

アルミ缶回収、洗車  
売り上げ…約 33 万（前年度比-1 万円）

##### ・自主製品

アクセサリー、陶芸、雑巾他  
売り上げ…約 34 万（前年度比+8 万円）

##### 全体

【作業収入】 約 93 万(前年度比+8 万円)  
(内訳：軽作業 28%、屋外作業 35%、自主製品 37%)



## (2) 生活支援

グループホームを利用されている方は昨年度と同様 22 名であった。第 2 みらい利用者の半数以上を占めており、ホームとの連携は更に重要となってきた。また、ご家族が亡くなられ福祉サービスを利用しながら一人暮らしをされている方や、ご家族の高齢化等で同居が困難になられた方など、生活環境が大きく変化する方も増加しているため、法人全体で支援体制の構築を図った。

### ・日中一時支援

延べ利用者数…7 名（前年度比－8 名）

延べ利用時間…6.5 時間（前年度比－8.5 時間）

ご家族の都合等で所定の時間に送迎することが困難な場合に、時間を延長し支援を行った。緊急時は外食、特別送迎等の提供で出来る範囲で家族支援を実施。

### ・入浴サービス

入浴サービスの利用実績なし。しかしながら、今後もニーズに応じて対応していきたいと考えている。

## 11. 広報・地域活動・実習

### (1) 広報関係

#### 【広報誌の発行】

今年度より法人として広報誌「みらいの WA」を発行することとなったため、事業所での広報誌は廃止となった。「みらいの WA」を年 3 回、ご家族はもとより、関係機関や関係者に配布し、広く啓発活動に努めた。

	号	発行日	部数
1	第 1 号	7/20	420
2	第 2 号	10/20	420
3	第 3 号	1/20	420

(2) 例年であれば、地域活動として自治会や近隣の福祉施設、障害者団体等との交流を図りながら、豊中市啓発活動委員会の企画・運営に参画(素のままフェスタ)してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止に伴い、ほとんどの活動が中止となった。また、豊中市みどりの交流会活動の運営・企画については、感染状況により中止になることもあったが、積極的に参加（月 1 回定例他）し、園芸の育苗活動をともに行う中で各地域との連携を図った。

(3) 実習・ボランティア関係

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、実習やボランティア等の受け入れを中止した。

12. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決する窓口として苦情受付担当者を1名配置。苦情は意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けた。今年度の苦情は下記のとおり。その都度対応するとともに、家族会等での報告、職員への供覧などにより周知した。また第三者委員会にも報告。

\*第三者委員会：令和2年9月29日(火)15:00～  
令和3年3月9日(火)15:00～

申立人	苦情内容要旨	対応
ご家族（母）	健康診断に必要な物品や書類の連絡が直前過ぎる。	この連絡以前にも、ご本人のお姉さま宛てに連絡をさせていただいており、当然伝わっているものと考えていた。コロナの影響もあり、ご本人は第2みらいへほとんど通所できておらず、何かあった場合には、基本的にお姉さまへ連絡をしており、お姉さまからお母様へ伝えて頂いていた。 本件については、施設長より改めてお母様へ謝罪をしている。

申立人	苦情内容要旨	対応
近隣住民	朝、幼稚園バスを待っている時に、利用者に子供が足を掴まれた。そこから離れようと子供を引き離したが、利用者が執拗に追いかけてきたため、慌てて後ろに転倒してしまった。転倒したところへ利用者が更に掴みにきた。その際に、足を怪我してしまった。同じことが二度と起こらないようにしてほしい。また、同じ地域で暮らすものとして、利用者に対して適切な支援を行ってほしい。	停留所を変更し、ご自宅の玄関まで直接送り迎えすることとした。 また、第2みらいで申立人を交えた面談を行い、謝罪するとともに、今後の対応について話し合いを行った。 利用者のご家族の高齢化等により、ご本人への支援が難しくなっている現状もあり、今後の支援の在り方について関係機関と連携しながら検討していくこととした。

### 13. 職員研修・会議等

#### 【職員研修】

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、特に上半期の外部研修が軒並み中止となった。オンライン化により徐々に外部研修が再開してきたが、職員が不足する中、なかなか研修に参加することが出来なかった。

月日	研修名等	主催	場所/会場	参加者
7/31	法人全体研修	虐待防止委員会	第2みらい	全職員
8/7	障がい福祉従事者研修	大阪府社会福祉協議会	大阪府指導センター	松永
9/7	強度行動障害支援者養成研修 フォローアップ	社会福祉法人侑愛会	第2みらい (オンライン)	竹口
9/7~18	法人全体研修	高齢化対策部会	各事業所	全職員
9/25~ 10/15	法人全体研修 (追加研修)	虐待防止委員会	各事業所	全職員
12/24	サービス管理責任者更新研修	大阪府地域福祉推進財団	大阪府 社会福祉会館	岡本
12/25	法人全体研修	権利擁護部会	第2みらい	全職員
1/13	サービス管理責任者更新研修	大阪府地域福祉推進財団	大阪府 社会福祉会館	関田
1/14	サービス管理責任者更新研修	大阪府地域福祉推進財団	大阪府 社会福祉会館	田村

2/27	GH における生活支援の取り組み	自閉症 e サービス	谷町セミナー ルーム	高橋
3/12	法人全体研修	グループホーム/ 住まいの在り方部会	第 2 みらい	全職員

### 【会議等】

会 議 名	回 数	開催期日、構成員等
職員会議	12	毎月第 1 木曜日 (管理者、主任、サビ管、職員)
ケース会議	12	毎月第 3 木曜日 (管理者、主任、サビ管、職員)
個別支援会議	12	毎月不定期 (サビ管、職員)
調整会議	48	毎週水曜日 (管理者、主任、リーダー)
給食会議	12	毎月第 3 月曜日 (管理者、担当職員)

#### \*その他

- ・虐待防止委員会 2 回 (管理者、サビ管、サビ責、事務局員)
- ・虐待防止委員会事務局会議 定例 11 回 (事務局員)  
臨時 3 回 (事務局員)
- ・第三者委員会 2 回 (管理者、主任)
- ・運営会議 (管理者、主任)
- ・所属長会議 (管理者)
- ・市内施設長会議 (管理者)
- ・家族会 (管理者、主任)
- ・日中事業者連絡会 (管理者)